



平成 21 年 2 月 10 日
株式会社シノケングループ
代表取締役社長 篠原 英明
(JASDAQ・8909)

平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信（連結）参考資料

■ TOPICS ■

- フリー・キャッシュフローが前年同期比で大幅に改善（約 40 億円のプラス）

1. 第 3 四半期連結（累計）業績の概要について

世界的な金融システム不安が、実体経済に波及するに至り、世界同時景気後退を招いたことから、景況感は急速に悪化してまいりました。一部においては、不動産価格の先安感等から、潜在的な需要や投資意欲は感じられるものの、依然として不動産業界を取り巻く事業環境は厳しい状況にあります。これらの市況の変化による影響のほか、不動産販売（投資）事業における一部案件の引渡しにずれ込んだ影響等もあり、連結業績につきましては、主として売上高の減少の影響から、利益面においても前年同期を下回る結果となりました。

【単位：百万円】

	平成 21 年 3 月期 第 3 四半期累計【実績】	平成 20 年 3 月期 第 3 四半期累計【実績】	前年同期 増減額
売上高	11,010	15,902	△4,892
営業利益	△627	105	△732
経常利益	△869	△82	△787

2. 連結キャッシュ・フロー計算書について

米国サブプライムローン問題の影響による信用収縮や、金融機関の融資姿勢が極めて慎重になる中、主として短期借入金の返済による財務活動によるキャッシュ・フローの減少分を、本業のキャッシュを生み出す力であるフリー・キャッシュフローの増加分で賄い、現金及び現金同等物は前年同期並みの水準を維持しております。

【単位：千円】

区 分	平成 21 年 3 月期 第 3 四半期 連結累積期間	平成 20 年 3 月期 第 3 四半期 連結累積期間	前年同期 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	869,375	△2,950,708	3,820,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,882	△247,721	99,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,997,651	2,270,518	△4,268,169
現金及び現金同等物の四半期末残高	537,387	586,153	△48,766

(注)主要な科目のみ記載しております。

フリー・キャッシュフローが
前年同期比で約 40 億円改善

3. 今後の見通しについて

平成 21 年 3 月期の連結通期業績予想につきましては、当社グループの通常の営業形態として、第 4 四半期連結会計期間の売上高が他の四半期と比較して大きくなる傾向にあるため、現時点では平成 20 年 5 月 16 日に開示しております業績見通しに変更はありません。

以 上